
令和3（2021）年10月18日（月） 第4号
北海学園札幌高等学校WWLコンソーシアムリポート
Snow Crystal Project in Hokkaido

今年度の文部科学省WWLコンソーシアム支援事業第1弾として実施しました「GLOBAL VILLAGE 2021」において、北海道大学大学院教授の山中康裕先生の講義が行われました（WWLニュースVol1 参照）。

オンラインで拝聴して下さった連携校のうち、札幌日本大学高等学校の1年生の皆さんのレポートの一部を紹介します。

☆ SDGs 1つ1つの目標は規模が大きく、直接私たちが何かできるということは少ないと思うけれど、でも、自分にはできないことでも考えて発信していくことは大事だし、自分たちの未来を自分たちの手で守っていかねばならないと思いました。

世界では手を洗えている人が多くいて、医療も未発達な国があり、コロナウイルスの感染や死もあるので、ワクチンは発展途上国を優先すべきだとも感じた。

☆ セヴァン スズキさんのスピーチを聞いて、子供であっても行動することが大切なのだなと思った。将来の地球のために、今自分にできることは何かを考える良い機会になった。

☆ 自分自身の身の回りのことを考えながら、先生の講義を聞きました。私は寮生活を送っていますが、例えば、食べ物のお話をすると、食事後に残したものは大きなバケツに棄てています。私が食べ切れなかった分を棄ててしまうのですが、そのときはいつも申し訳なく感じます。

結局は、一人一人の意識で世界を変えることができるのだと思いましたし、気を付けた行動をしたいと考えました。

☆ 世界の環境が良くなる理由として、自国の目の前のことに対してしか意識がないということを実感しました。

未来は想像できないけれど創造することができるので、知識をつけようと思います。AI革命により5つ目の社会になろうとしていて、それが悪い方向へ進まぬように、SDGsが大事だということもわかりました。

☆ 未来のために私たちの生活をどのように変化させるべきなのかを考えさせられる講義でした。ありがとうございました。

札幌日本大学高等学校の皆さん、ありがとうございました。今後も共に学んでいきましょう。